

社会に役立つための勉強をしよう

校長 大澤 誠一

今日は勉強について話をします。

皆さんご存知のとおり、高校入試では、すべての学校で学力検査が行われます。公立高校は5教科500点満点です。私立高校は各学校が定めた科目とその得点になります。いずれにせよ、点数が取れなければ、希望する高校に合格することはできません。

学力の向上は、誰もが願っていることです。しかし、なかなか思うように学力が向上しないことがあります。なぜでしょうか？その多くが「勉強は嫌いだ。」などと理由をつけて、勉強から逃げているからです。勉強には、つらく苦しいときもあります。しかし、努力して頑張れば、必ずその分の成果はあります。

皆さん、勉強は何のために行うのですか。成績を上げるためですか。それもいいですね。希望する高校へ合格するためですか。それもいいですね。では、成績を上げて、希望する高校へ合格して、それでどうしますか。さらに、よい大学へ行きますか、そして、よい会社に就職しますか。それもいいですね。

私は、勉強は、将来、社会の役に立つために行うものだと思うのです。会社員でも、公務員でも、医師でも、自営業でも何でも社会の一員として、社会の役に立つために勉強するのだと思います。私の知人に、将来の日本の車社会を変えると一生懸命勉強

した人がいます。やがてその人は、車の運転中、前方に危険物があると安全のため停止するという仕組みを考案しました。今、そのような安全を重視した車の販売が伸びてきています。社会の役に立っているからです。また、京都大学の山中伸弥教授はあらゆる細胞に分化する能力があるiPS細胞（人工多能性幹細胞）を開発しノーベル医学・生理学賞受賞しました。これもこれからの社会に役立つものです。

次に学力を向上させる方法についてですが、皆さんの学力を向上させるために大切なことは二つあります。まず 授業に集中することです。例えば、高校受験では、知識・理解だけでは正解できない問題もあります。思考や判断が求められます。だからこそ、授業の中で思考・判断力を高めていってほしいのです。

次に 家庭学習をしつかり行うことです。学校で学んだことは、復習しなければ身につきません。そのため家庭学習が大切なのです。

勉強方法にはこれが一番といったものはありません。一人ひとりが、自分に最も合った学習方法を、苦しい勉強の中から見つけ出していくのです。

勉強は、教科の学習だけではありません。豊かな心を身につけることも丈夫な身体をきずいていくこともみんな社会の役に立つための大事な勉強です。

将来のあるべき自分の姿を思い描き、勉強に励んでいってください。